



学校だより

～立花小学校は令和5年3月に創立150周年を迎えました～

# たちばな

2023年9月29日

尼崎市立立花小学校  
校長 植木 加代子

## よかったことも失敗も 糧にして成長する秋本番

いよいよ明日は、待ちに待った体育大会となりました。今回は、創立150周年記念体育大会として実施いたします。各ご家庭では毎日のお茶や水分補給の準備に洗濯などに、また地域の皆様には早朝からの練習の太鼓やマイクなどの音が響き渡っていたにもかかわらず、苦情もなくご理解ご協力をいただきましたことに、心より深く感謝を申し上げます。子どもたちの精いっぱい演技競技でその気持ちが表現できればと存じます。8月末頃には、10月まで厳しい暑さが続くという予報が出たことで、練習段階からの熱中症のご心配もおかけしたと存じます。大会当日は十分なテントの確保も、150周年実行委員会の皆様のご尽力により大きなテントを、そしてPTA会員おひとりおひとりのおかげさまにより全児童席のテント確保も実現しました。入場人数制限は、子どもたちのご家族に関してはほぼ解除となりましたが、コロナ禍で学んだ秩序や譲り合いは今後もよき伝統としてうまく生かしたいと思います。当日のスタッフも、毎年PTAからもボランティアに出ただいて感謝しております。今年は特に参加賞をペットボトルの水というように、熱中症予防と絡めてご配慮いただきました。子どもたちは、それぞれの目標をもって、競技演技にチャレンジします。運動が得意な子どもも、苦手な子どもも、どの子も輝ける体育大会となりますよう、最後まで力いっぱい頑張る子どもたちに、最後の子どものゴールまで温かいご声援と拍手をどうぞよろしく願いいたします。

そして10月にはいりますと秋本番。音楽会の練習にも一層熱が入ってきます。読書週間もあります。本校は日々の給食で食育も進めています。子どもたちが決めた次の目標に向かう姿を、大人は結果だけでなく、毎日の積み重ねこそ立派なことと励まし、あきらめずに最後までがんばって走りきる10月にしたいと思います。

大きな行事がひとつ終わり、日が短くなってくると、どうしてもネガティブな面が表面化することが多いものです。たとえば些細なトラブルがあったり気になったりといったようなことです。ピンチはチャンスとし小さなこともその都度ふりかえり、相手の立場や気持ちを思いやる機会とし、その繰り返しによって心を育みかわりを築いていければと考えます。スタートを何度でもできるということです。自分をいたわり、相手をもいたわる。そんな秋でもありたいと思います。

10月19日は、子どもたち主体で創立150周年を祝う会をもちます。歴史博物館の方から地域や学校の歴史も学び、10年後の自分にあてたメッセージを全校児童の前でタイムカプセルに収納し、

エコに配慮した風船飛ばしをします。今の子どもたちは、

創立200周年の時は来賓や実行委員として活躍する世代です。

世代をつなぎ夢をつなぐのは学校です。

オーストラリアと  
リアルタイム交流授業

